

概要版



ケンセツミライ HOKKAIDO mini

北海道の社会資本整備2023

地域と一体となって計画的かつ効率的な社会資本整備を進めていくため、北海道建設部が取り組んでいる施策や実施している事業を取りまとめました。



詳細版はこちらから
ご覧になれます！



動画で見るケンセツミライは
こちらからご覧になります！

令和5年（2023年）4月
北海道 建設部

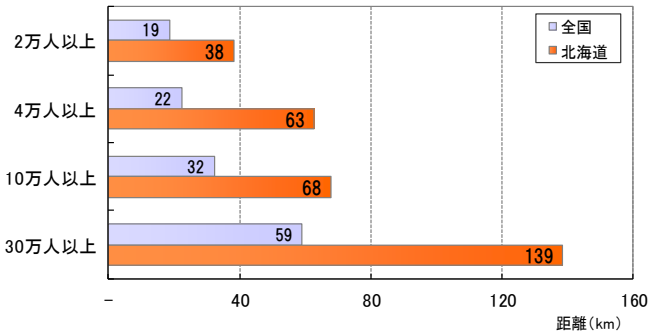
北海道建設部
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
(代表) 011-231-4111
問い合わせ先：建設政策局建設政策課

北海道の地域特性と課題

広域分散型の地域構造

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型の地域構造を有しており、都市間距離は全国平均の約2～3倍です。

都市の人口規模

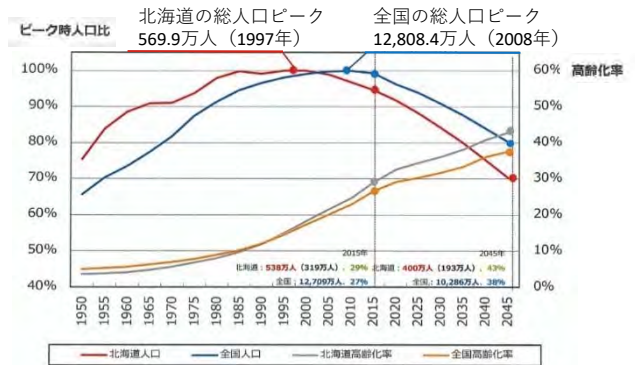


最寄都市までの平均道路距離

【出典：NITAS（総合交通分析システム）Ver.2.6（2020年3月）】

人口減少・高齢化の状況

北海道では全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、近い将来、高齢化とも相まって、経済、暮らし、行政などの幅広い分野において、深刻な事態になることが危惧されます。



道内人口の将来推計

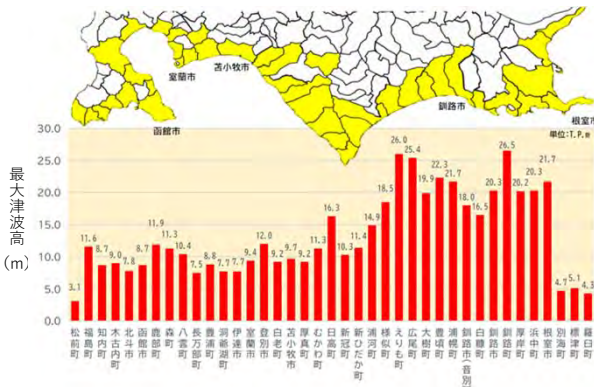
【出典：人口推計（総務省）、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）】

頻発する自然災害

北海道は、平成30年胆振東部地震など、近年、度重なる大規模な自然災害に見舞われました。また、気候変動等の影響により、北海道における将来の降雨増加率は全国に比べ高くなると予測されているほか、日本海溝・千島海溝の大規模地震の発生が危惧されています。

積雪寒冷な気候

冬期間、除雪が必要な高規格道路、国道、道道などの除雪路線延長は約17,500kmで、そのうち北海道が管理している道路は約6割の約10,300kmに及びます。



太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される最大津波高

【出典：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定について（北海道 令和4年7月）】



令和2年度豪雪

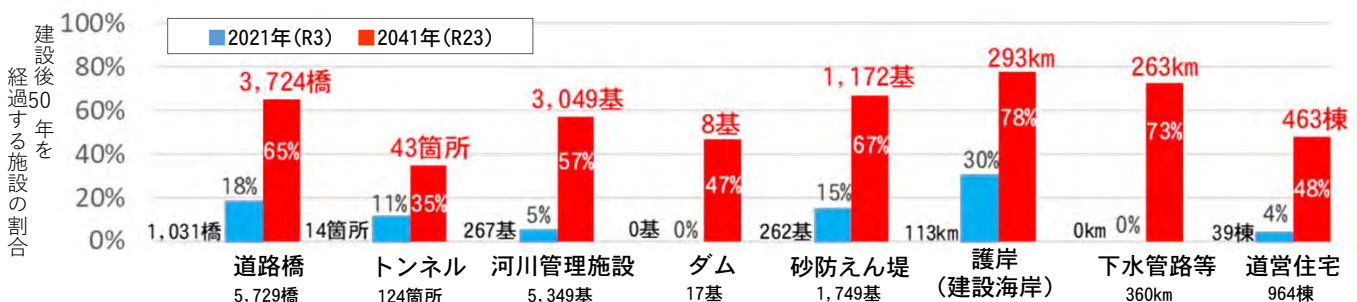
雪崩発生状況

雪害による被害額は過去10年間（2010.1～2020.12）で約220億円！！

冬期間の道路の状況

社会資本の老朽化

高度経済成長期に整備した社会資本の老朽化が進んでおり、20年後には多くの施設が建設後50年を経過します。



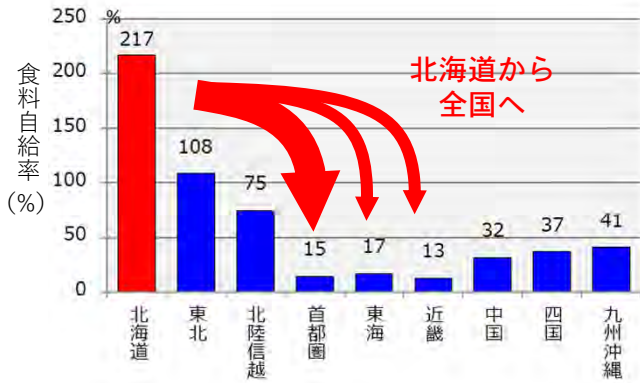
主な社会資本の老朽化の状況

（令和4年7月時点）

日本の安定と発展に貢献する北海道

食料安全保障の強化に貢献

北海道は、豊かな自然と広大な土地資源を活かして国内最大の食料供給地域として、安心・安全で良質な食料を安定的に生産・供給する役割を果たしています。



国内の食料自給率（カロリーベース）

【出典：令和2年度（概算値）の都道府県別食料自給率より算出（農林水産省）】

カーボンニュートラルの実現に貢献

北海道では、豊富な再生可能エネルギーポテンシャルやCO₂吸収源となる広大な森林などを有しており、日本の2050年カーボンニュートラルの実現に貢献します。

北海道の秘めた力を発揮しよう！

北海道は再生可能エネルギーを創り出すポテンシャルが全国随一！

- 風力発電 導入ポテンシャル 全国1位
- 太陽光発電 導入ポテンシャル 全国1位
- 中小水力発電 導入ポテンシャル 全国1位
- 水力発電
- バイオマス 産産都市の数 (38市町村) 全国1位
- 地熱発電 導入ポテンシャル 全国2位
- 地熱発電
- 森林面積 全国1位

国が選ぶ脱炭素先行地域は北海道が5カ所（石狩市、上士幌町、鹿追町、札幌市、奥尻町）と全国最多（2022年11月1日現在）。地域の木材やもみ殻、温泉熱などの地域資源を使った取組も道内で進んでいます。

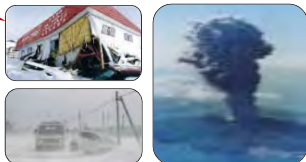
北海道の再生可能エネルギーのポテンシャル

国全体の強靱化に貢献

自然災害に対する北海道の脆弱性を克服し、道民の命を守り、食料・エネルギーの安定供給を図るとともに、本州等とのネットワーク強化によりバックアップ体制を構築し、国全体の強靱化に貢献します。

大規模自然災害
リスクに対する脆弱性

- ・地震・津波防災対策
- ・治水対策
- ・暴風雪対策
- ・火山噴火・土砂災害対策



観光立国の実現に貢献

北海道は知床などの大自然に恵まれ、アイヌの伝統文化、縄文文化、豊かな食文化を有するなど、日本の主要な観光拠点として観光立国の実現に貢献します。



3年ぶりの会場開催で175万人が来場



2023年9月アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）が北海道で開催されます。



北海道と国全体の強靱化イメージ

順位	海外旅行志向層	若年層 (Z世代)	若年層 (ミレニアム世代)	アウトドア趣味層	一般層
1	北海道 77.2	北海道 69.1	北海道 76.8	北海道 82.9	北海道 68.3
2	沖縄 65.4	沖縄 51.6	沖縄 61.4	沖縄 64.2	九州 51.5
3	九州 59.8	九州 51.3	九州 56.2	九州 64.0	沖縄 48.6
4	東北 50.8	近畿 49.3	近畿 51.0	東北 60.4	近畿 48.4
5	近畿 50.4	関東 38.9	東北 42.1	近畿 55.2	東北 45.0

国内の旅行に行きたい地域

【出典：令和3年度 広域連携 DMO としてのデジタルマーケティング事業「国内旅行調査分析事業」調査報告書（公益社団法人北海道観光振興機構）】

社会資本整備の基本方針と主要施策

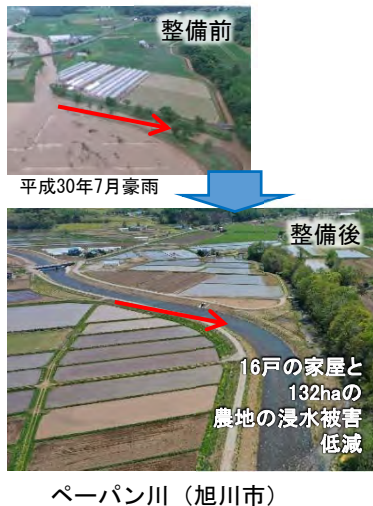
防災・減災、国土強靱化

気候変動の影響などにより激化する自然災害から人命を守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を重点的・集中的に進めるとともに、ハード・ソフト対策を総動員し、流域全体で取り組む「流域治水」を推進し、河川堤防や遊水地等の整備、砂防関係施設、海岸保全施設の整備などを行います。また、高規格道路のミッシングリンク解消など災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保や災害に強い安全な道路交通環境整備を推進します。

■「流域治水」の推進



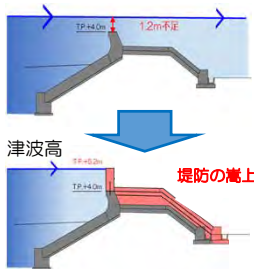
■総合的な治水対策の推進



■土石流、地すべり、がけ崩れ、火山泥流などから地域を守る土砂災害対策



■高潮、津波、侵食などから地域を守る海岸保全施設の整備



■災害に備えた安全な道路交通環境の整備 災害防止・景観向上（無電柱化）



インフラメンテナンス

これまでに整備された社会資本の機能が低下することにより、道民の生命や財産に危険が及んだり、生活や経済活動に支障が生じることのないよう、「公共土木施設の維持管理基本方針」を策定し、効率的・効果的な維持管理に努めています。また、施設の長寿命化を図り、必要な機能が適正に発揮されるよう、「北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づき、社会資本の老朽化対策を戦略的に推進し、維持管理・更新等に係るコストの縮減・平準化を図ります。

■社会資本の日常管理



■施設管理の体制づくり



■社会資本の老朽化対策

▼橋梁



▼樋門



持続可能な社会・経済の形成

北海道では、人流・物流の大半を道路交通に依存しています。経済活動を支え、地域の交流や発展に寄与する高規格道路等の整備を促進します。また、地域間の連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成、都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備を推進します。

子育てに配慮した公営住宅など安心して子どもを産み育てることができる環境づくりやユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくりを推進します。また、冬期交通確保のための除排雪の充実や地吹雪・雪崩対策など冬期における安全で快適な道路交通の確保を図ります。

高規格道路等ネットワークの形成

■高規格道路等の整備促進と機能向上

高規格道路等の整備

旭川市街地の混雑状況



高規格道路 旭川東神楽道路（旭川市・東神楽町）

【北海道】

未着手区間の割合
20% (362km)

事業中
264 km

全国に比べ道内の開通率は未だ低い状況

計画総延長1,825km

開通延長 1,199km

66%開通

【全 国】（北海道を除く）

未着手区間の割合
3% (345km)

事業中
775 km

計画総延長12,175km

開通延長 11,055km

91%開通

高規格幹線道路の開通率

令和5年4月1日時点 【出典：北海道調べ】
(旧名称) 地域高規格道路を除く

物流交通ネットワークの形成

■物流ネットワーク形成のための道路網整備



都市計画道路 川東通（北見美幌線）（北見市）

■都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備



道道 きたひろしま総合運動公園線（北広島市）

誰もが安心して暮らせるまちづくり

■子育て支援住宅の普及促進など安心して子どもを産み育てられる環境づくり

安全で安心して利用できる魅力ある公園整備



北海道子どもの国（砂川市）

子どもを産み育てられる環境づくり



道営住宅の集会所を活用した
子育て支援事業（余市町）

子育て支援事業の実施状況

■安全で安心な道路交通環境の整備



道道 当別浜益港線（当別町）

■冬期における安全で快適な道路交通の確保

冬期における歩行空間の確保



都市計画道路 駅前通（木古内町）

大雪災害への対応



市道 文教通り（江別市）

ゼロカーボン北海道の実現

ゼロカーボン北海道の実現に向け、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー化、吸収源対策等の取組を推進します。

■住宅・建築物の更なる省エネ対策の強化



北方型住宅2020で創るマチとして、秩序あるまちなみと豊かな暮らしを実現

南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジ



地域材を活用した公共建築物

道立北の森づくり専門学院校舎 (旭川市)

■道有施設における脱炭素化の取組



道有施設におけるZEB (Near ly ZEB) の導入

北海道消防学校 (江別市)

■持続可能な交通・物流サービスの展開



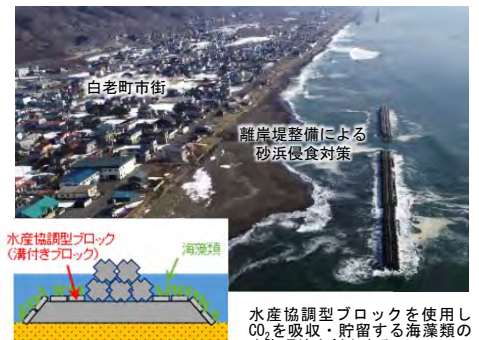
ラウンドアバウトによる渋滞対策

道道きたひろしま総合運動公園線 (北広島市)



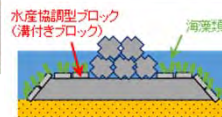
緑農地への汚泥堆肥散布の様子 (標茶町)

■ブルーカーボンの拡大



白老町市街

離岸堤整備による砂浜侵食対策



水産協調型ブロック (落付きブロック) 海藻類
水産協調型ブロックを使用しCO₂を吸収・貯留する海藻類の生育環境を創出する。

虎杖浜海岸 (白老町)

北海道Society5.0の実現

社会経済状況の変化に対応するため、インフラ分野においてもデジタル技術やビッグデータの活用により、社会資本や公共サービスを革新するとともに、建設現場の安全性や効率性の向上や働き方改革を推進します。また、ICTを活用した工事の導入、地図情報と連動した施設点検やパトロールの結果などの情報の一元化などの取組を進めます。

■迅速な災害対応



令和2年8月豪雨
杓形仙法志鴛泊線 法面崩壊

ドローンによる被災状況の把握

■現場の安全性や効率性の向上



ICT建設機械による施工



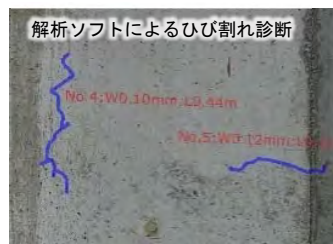
遠隔臨場による現地確認

■働き方の変革



新技術 ドローンによる撮影

ドローンによる橋梁点検と、画像解析ソフトの活用



解析ソフトによるひび割れ診断

■パトロールの効率化



撮影した写真から報告書を自動的に作成

パトロール日報の自動作成

ケンセツミライトピックス

ボールパークアクセス道路の完成

(株)北海道日本ハムファイターズの本拠地となる北海道ボールパークFビレッジ(北広島市)の開業(令和5年(2023年)3月)にあわせ、令和2年度(2020年度)より事業を進めてきたアクセス道路(道道きたひろしま総合運動公園線)を令和5年(2023年)3月1日に供用開始しました。



「ほっかいどう住宅フェア2022」を盛大に開催!

令和4年(2022年)10月15日(土)、16日(日)の2日間、札幌市内のアカプラ、チ・カ・ホでハウスメーカーや工務店など50を超える住宅関連企業・団体が集まり、「北方型住宅」や北海道の家づくりに関する取組・製品等の情報を発信。約16,200人が来場しました。



同時開催の「住まいフェスin北海道」には高円宮久子妃殿下もお成りになりました。

第39回全国都市緑化北海道フェアの開催

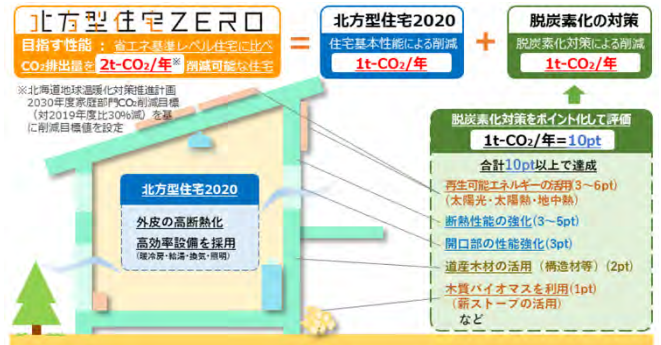
全国都市緑化フェアは、花と緑に関する国内最大級のイベントで、北海道と恵庭市、公益財団法人都市緑化機構の三者により、令和4年(2022年)6月25日から7月24日の1ヶ月間、道内各地の協賛会場、スポット会場と連携のうえ開催し、メイン会場の恵庭市「花の拠点はなふる」では、約34万人の来場を頂きました。



フェア期間中に開催された「緑化祭」では、佳子内親王殿下のご臨席を賜り、記念の植樹を行いました。

「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、『北方型住宅ZERO』を創設

令和4年度(2022年度)、住宅の脱炭素化を先導するゼロカーボンモデルとして『北方型住宅ZERO』を創設しました。令和5年度(2023年度)は、地域性を活かしたゼロカーボンモデル団地の展開を進めます。



「北の住まいるタウンの基本的な考え方」の見直し

まちづくりの目指す姿や取組の方向性を示す「北の住まいるタウンの基本的な考え方」について、見直しを行い、令和4年(2022年)11月に公表しました。また、「北の住まいるタウン」の普及啓発・推進に向けた取組として、第10回の節目となる「まちづくりメイヤーズフォーラム」を開催しました。



「第10回まちづくりメイヤーズフォーラム」特別講演の鈴木貴之氏

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」を策定

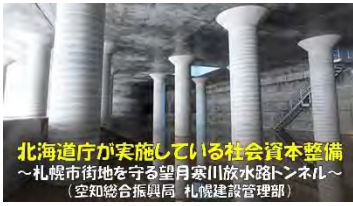
地域の安全・安心や経済・雇用を支える建設産業の持続的な発展を図るため、新たな建設産業振興施策として「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」を令和5年(2023年)3月に策定しました。



建設産業ふれあい展(チ・カ・ホ)

動画で見るケンセツミライHOKKAIDO

札幌市街地を洪水から守る望月寒川放水路トンネル



北海道庁が実施している社会資本整備
～札幌市街地を守る望月寒川放水路トンネル～
(空知総合振興局 札幌建設管理部)



札幌市街地を守る望月寒川放水路トンネルについて紹介します。

「きたの担い手たち」



「きたの担い手たち」
きたの担い手たち



将来の社会資本整備を担う子供たちに現場の魅力などを発信します。

毎日を支える



毎日を支える



建設業の魅力を知っていただき、より一層関心を深めてもらう映像です。

雪を克服する仕事 そして春を呼ぶ仕事



雪を克服する仕事
そして春を呼ぶ仕事

北海道 建設部 建設政策局 維持管理防災課



冬の安全・安心の確保や日々の暮らしを支える除雪業務を紹介します

北海道を守る仕事～災害対応（災害査定）編～



北海道を守る仕事
～災害対応(災害査定)編～



近年、頻発化・激甚化する自然災害！復旧工事に着手するまでの技術者の奮闘を紹介します。

北海道から日本の建築を変える



北海道から日本の建築を変える



ゼロカーボン北海道の実現に向けた「北方型住宅ZERO」や建築業の魅力を紹介します。

まちを造り、生活を守る



～まちを造り、生活を守る～



市街地の街路整備や道立公園、下水道など都市環境課所管の事業を紹介します。

北海道の土木技術職員になろう



北海道の
土木技術職員になる
【地方公務員】
北海道庁



北海道の土木技術職員の仕事などをインターネットで公開します。

道央中央自動車道 「苫小牧中央インターチェンジ」が開通しました



道央自動車道苫小牧中央IC

祝開通



道央自動車道「苫小牧中央インターチェンジ」が令和2年12月に開通。是非ご利用ください。

道道きたひろしま総合運動公園線 「ラウンドアバウト」の通行方法について



道道きたひろしま総合運動公園線
ラウンドアバウトの通行方法について



北海道ポールパークFピレッジへ札幌方面からアクセスするルートに、円形状の交差点が新設されました。